

全国のプログラミング教育に関する実践事例を共有！

プログラミング教育プラットフォームメディア

「Computer Science for ALL」 オープン！

特定非営利活動法人 CANVAS（所在地：東京都台東区,理事長：石戸奈々子）は、デジタル時代の創造的な学びの場を産官学連携で推進する団体として 2002 年に設立しました。この度、設立当時から取り組んできたプログラミング教育の広がりを加速するべく、全国の実践や教材などを集約したプログラミング教育のプラットフォームメディア「Computer Science for ALL」をオープンいたしました。

弊社団体では、「すべての子どもたちにプログラミング教育を提供したい」という思いのもと、ワークショップの開催だけではなく、2012 年からはプログラミング教育の普及に向けた支援活動にも力を入れた取り組みを続けてまいりました。地域・学校を対象にした指導者研修会・カリキュラム提供・機材貸出・出張授業など、1 年間で 1000 人以上の皆様へ研修会にご参加いただき、25000 人以上の子どもたちへ体験を提供してまいりました。（*）本ウェブサイトでは、それらの活動を通して生まれた全国の実践者のネットワークやノウハウの蓄積を活かし、全国の学校の先生方・ワークショッププレイヤー・企業や教育関連団体の方々の実践、取り組みを紹介してまいります。

高市早苗様（総務大臣）、坂村健様（東京大学大学院情報学環教授）、村井純様（慶應義塾大学環境情報学部長・教授）をはじめとする 20 名以上の国内外の有識者・専門家の皆様にアドバイザーとしてもご参画いただき、メッセージを頂きました。今後とも、様々な全国の実践事例やインタビュー記事を公開予定です。ぜひご注目いただけますと幸いです。

ウェブサイトコンテンツ

- アドバイザーのご紹介
- 有識者・専門家の方々へのインタビュー記事
- 指導案・ワークショップ事例紹介
- 全国のとりくみ紹介
- 教材・関連書籍・紹介

「Computer Science for ALL」アドバイザー一覧

赤堀 侃司様／日本教育情報化振興会 会長・ICTconnect21 会長・東京工業大学 名誉教授

阿部 和広様／青山学院大学 客員教授・津田塾大学 非常勤講師

新井 健一様／ベネッセ教育総合研究所 理事長

安藤 明伸様／宮城教育大学 准教授

稲見 昌彦様／東京大学 先端科学技術研究センター 教授

井上 博雄様／経済産業省 経済産業政策局 産業再生課長

笠原 健治様／株式会社ミクシィ 会長

金丸 恭文様／フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長 グループCEO

小出 伸一様／株式会社セールスフォース・ドットコム 代表取締役会長 兼 CEO

合田 哲雄様／文部科学省 初等中等教育局教育課程課長

小宮山 宏様／プラチナ構想ネットワーク 会長・株式会社三菱総合研究所 理事長・東京大学 第28代総長

坂村 健 様／東京大学大学院情報学環教授

清水 亮様／株式会社 UEI 代表取締役社長兼 CEO

高市 早苗様／総務大臣

土居 丈朗様／慶應義塾大学経済学部 教授

中村 伊知哉様／慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授

夏野 剛様／慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授

南場 智子様／株式会社ディー・エヌ・エー 取締役会長

原田 康徳様／プログラミング言語ビスケッ開発者

堀田 龍也様／東北大学大学院情報科学研究科・教授

松尾 豊様／東京大学大学院 特任准教授

村井 純様／慶應義塾大学環境情報学部長・教授

吉田 雄人様／横須賀市長

暦本 純一様／東京大学大学院情報学環 教授・株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長・Koozyt, inc. 共同創業者・取締役特別顧問・電通 ISID スポーツ & ライフテクノロジーラボシニアリサーチフェロー

(あいうえお順)

* CANVAS のプログラミング教育のとりくみについて

CANVASは2002年から、デジタル時代の創造的な学びの場を産官学連携で推進する団体としてNPO法人として、2002年に立ち上がりました。これからを生きる子どもたちに必要な力は「異なる背景や多様な力を持つ子どもたちがコミュニケーションを通じて協働し、新たな価値を生み出す力」だと考え、子どもたちの創造的な学びの場を産官学連携で、提供してまいりました。

設立時からプログラミング教育にも取り組んできました。2012年の夏からは、東日本大震災の被災地でも要望を受け、プログラミングワークショップを開催しました。地域の団体の方々と連携をしながら約半年の間に600名以上の子どもたちが参加しました。その後、改めて、すべての子どもたちにプログラミング教育の機会を提供したいという思いから、プログラミング推進プロジェクトPEG (programming education gathering) をGoogleの後援のもと立ち上げました。2013年10月に、Googleの会長であるエリック・シュミット氏が来日しプロジェクトの立ち上げを発表し、5000個の小型コンピュータ「ラズベリーパイ」を活用し、1年間で25000人の子どもたちにプログラミング教育の機会を提供することを目標として掲げました。

ある小学校では、全校児童約350名にラズベリーパイを贈呈し、国語・算数・理科等の教科授業においてプログラミング教育が導入されました。ある中学校では技術・家庭科の「プログラムによる計測・制御」の一環で実施され、ある学校では中学生が先生となりプログラミングの授業を行うなどの発展的な事例も生まれました。

ワークショップや授業の開催だけではなく、指導者研修等を通じたワークショップ・授業の開催支援を行い、1年間で1000人以上の先生方に研修を提供してきました。ウェブサイトを通じて、全国から寄せられたアイデアや授業例を共有し、プログラミング教育に関する情報を集約しつつ、全国に発信する活動も行っています。

このように全国で実践を重ねた結果、全国120以上の小中学校、大学、教育関連団体、7地域の自治体・教育委員会との連携により、目標を達成するとともに、活動を拡大しています。PEGで最も大事にしてきたことは「gathering」です。学校も、ミュージアムも、NPOも、家庭も、地域も、企業も、自治体も、みんなで集まり、力をあわせ、プログラミング教育の輪を広げていく運動をつくっていききたい。愛知gathering、横須賀gathering、北九州gathering、郡山gatheringなど15地域でgatheringがスタートしました。この活動は、指導者研修会や出張ワークショップ・授業をきっかけに、各地でのプログラミング教育を盛り上げていこうという運動です。

プログラミング教育を全国に届けるに当たっては、カリキュラム及び実践不足、指導者不足、環境未整備、地域の支援体制不足、ノウハウの共有不足など課題は山積みですが、プログラミング教育に強い想いを抱く全国の仲間と連携し、知見やノウハウを蓄積し、1つ1つ課題を克服して、さらなる広がりを推進していきたいと考えます。

このプラットフォームメディアが、プログラミング教育に関わる多くの皆様のお役に立てることを願っています。

本件に関するお問合せ先：特定非営利活動法人CANVAS

TEL 03-6802-7984／FAX 03-6802-7986

電子メール：press@canvas.ws

公式サイト <http://canvas.ws/>